

厚労科研大西班

ACT分担研究の概要について

2024.7.18



人にやさしい がん治療の今を
もっと伝えるために

ALLIANCE FOR CANCER TREATMENT

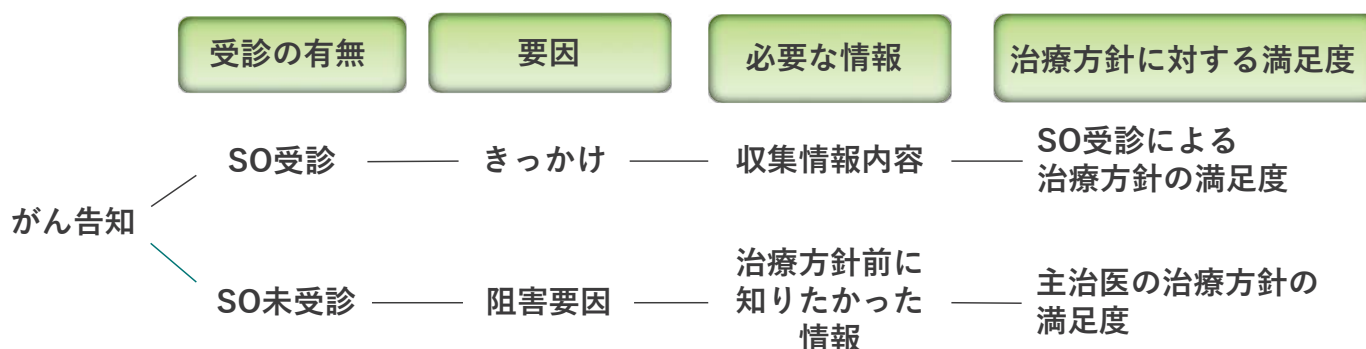
大西班調査企画案

■仮説：

協働意思決定の文化を根付かせるために、治療方針決定前にセカンドオピニオン(SO)受診が患者主体の医療提供体制構築のドライバーになる

■調査項目：

1. 要因：SO受診のきっかけはなにか、SO未受診者の阻害要因はなにか
2. 必要な情報：治療方針決定前に知りたかった情報はなにか
3. 治療方針に対する満足度（回答者によって現状の病状は様々）



1) セカンドオピニオン現状に関するデータの整理と解析

調査実施方法

調査対象

前立腺癌治療でのセカンドオピニオン 実施における現状

患者団体の前立腺がんサバイバー皆さまへ
セカンドオピニオン受診経験のアンケート調査
(アンケート項目案は後述)



- ・存在を認知が出来ていたか？
- ・受けて得られた知見・満足度は？

補足説明機会の実施現状と必要性を評価し、
施策を考察する



問題点の把握

- ・パターンリズム 医師主導によるバイアス
- ・ヘルスリテラシー向上と情報周知
- ・地域格差 受診しやすさ



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

ご依頼先：腺友倶楽部様 ウェブサイトより

腺友倶楽部の活動について

「たかがIMRTに辿り着くだけで、なぜこれほどの苦勞をしなければいけないのか」
私自身が治療を終えて一番に思ったことです。以来、WEB上で前立腺がんの医療
情報の発信を続け、2014年に前立腺がん患者・家族の会「腺友倶楽部」を立上げ、
2016年の春に「NPO法人腺友倶楽部」として、新たなスタートを切りました。
「腺友（せんゆう）」という言葉は腺友倶楽部の会員という意味ではなく、前立腺
がんの患者仲間という意味です。（武内理事長様コメント）

腺友NETのガイドブックに前立腺に関する詳細な情報を提供されている
武内様や皆さまの情熱的な活動 会員800名の大規模運営
患者様向けのガイドラインにも参画されている（武内様 山口様）



一般社団法人
がん医療の今を共有する会
223

ヒアリング内容の整理

アンケート内容

- 1) セカンドオピニオンの**存在認知**
- 2) セカンドオピニオンの**利用有無**
- 3) 治療方法説明に利用された**ツール**
- 4) セカンドオピニオンによる**治療方針決定への寄与**
- 5) セカンドオピニオンの**問題点**
- 6) セカンドオピニオンを受けた**満足度**

見えてくる情報

- 1) 周知体制
- 2) 経済的理由や心理的理由
パターンリズム・医師主導などバイアス要因
- 3) がん情報.jp 各種媒体
自身で調査時に得られた情報
- 4) 複数選択肢の提示
各治療法の認知
- 5) 存在周知・ヘルスリテラシー
地域格差・年齢差
- 6) 選択した治療の満足度
受診前後での選択肢違い



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

想定スケジュール

	2024									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
会議										
マイルストーン	アンケート内容検討				アンケート調査（患者）			解析・レポート化		
	解析に必要な内容検討				解析データ収集			解析・レポート化		
研究班工程	研究方法の詳細検討	研究方法の詳細検討	研究方法の詳細検討	準備期間	研究調査開始	調査締切	解析フェーズ	解析フェーズ	解析フェーズ	
補足	2025年度の 結果発表を目指す			7/19 腺友倶楽部様 再レビュー				11月24日(日) Mo fest 東京駅近く		



一般社団法人
がん医療の今を共有する会
224